

生徒の実態と指導観		リアルな問題				
<p>個人情報保護のため、 生徒観は省略しています。</p>		<p>日本初の小学校が設立されて150年が経ち、欧米に倣った近代教育制度は日本型学校教育として発展、さらには教育DXによる制度改革の渦中にある。次代を担う生徒には、既存の制度を完成されたものとして安易に受容せず、飽くまでも社会形成の主体であり続けることが求められる。</p> <p>例えば、投票率の低下をはじめとし、若者の政治への無関心・無力感が叫ばれて久しい。「地方自治は民主主義の学校」といわれるが、人々は本当に地方自治で民主主義を学ぶことができているのだろうか。さらには、住民自治の学校ともいえる町内会の在り方も問われている。持続可能な地域コミュニティの検討も喫緊の課題であるといえる。</p>				
		<p>P T</p> <p>自分の住んでいる地域が抱える課題を解決するために、実際に地方公共団体に請願や陳情もしくは要望を行なって地方行政を動かしてみよう。</p>				
探究計画	計画	① ブライスの格言からの探究	② 地方自治と国政の比較からの探究	③ 地方自治における住民参加からの探究	④ 地域コミュニティの持続可能性からの探究	
	問い	なぜ地方自治が最良の学校であるといえるのか。	地方自治と国政はどのような点が異なるのか。	なぜ地方自治では幅広い住民参加が予定されているのか。	私たちは地方自治や住民自治にどのようなにかかわるべきか。	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブライスが想定した民主主義 ・ 「民主主義の学校」としての地方自治 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治制度 ・ 二元代表制 ・ 地方自治と国政の相違点と制度の意図 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 請願、陳情、提案等の方法 ・ 地方公共団体で行なわれる地方行政の概要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会町内会の存在意義 ・ 自治会町内会と民主主義とのかかわり 	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブライス『近代民主政治』抄出 ・ 総務省資料「地方自治制度の歴史」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省資料「地方自治制度の概要」 ・ 衆議院資料「地方分権一括法」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体公開の広報資料 ・ 地方公共団体公開の行政情報 ・ 中高生の政治参加に関する資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Y市マンション自治会活動に関する資料 ・ 自治会町内会制度に関する市民オンブズマン調査結果概要 	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方自治と国政との相違に着目し、地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組み及び住民の権利や義務、幅広い住民参加の方法について説明することができる。 ○ 地方自治への主体的な参画の方法について、自治会町内会の存在意義をめぐる議論を通して多面的・多角的に考察し、提案することができる。 ○ 社会や政治、自身に身近な地方自治へ主体的に参画し、関心をもち続ける主権者としての自覚を高めようとする。 					
ルーブリック（例）			想定する生徒の姿			
A	地方自治の本旨を踏まえ、地域が抱える課題について主体的に調査・把握し、実態に応じた方法で地方公共団体に課題解決を働きかけている。			地方自治の本旨を踏まえて、自らが地方自治や住民自治の主体である意識を高めながら、自らが属する地域の課題について実地調査や聞き取り調査等を通して把握し、自分の能力や実態に応じた方法で地方公共団体にその課題の解決を提案することができる。		
B	地域が抱える課題を把握し、実態に応じた方法で地方公共団体に課題解決を働きかけている。					
C	地域が抱える課題について考えている。					

【補助資料①】 本時学習過程

○ 本時 第4校時 探究計画④ 3年2組教室にて

(1) 主眼

○ 自治会町内会の存在意義に関する討論会に向けた立論構成を通して、地方自治において実現されるべき民主主義の在り方について捉えることができる。

(2) 準備

①自治会町内会に関する生徒の意識調査結果 ②今日における自治会町内会の現況と諸問題に関する資料 (GT講話) ③立論構成シート ④GTによる資料と助言

(3) 過程

学習活動・内容	準備	主な手だて (○) と評価 (◇)	形態	配時
<p>1 前時までに把握した各自の自治会町内会の現況を共有し、その存在意義に関する問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自治会町内会の現況 ・自治会町内会が地方自治に与える影響 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>めあて 町内会は必要か？専門家の話を聞いて自分の考えをまとめよう。</p> </div>	①	○ 自治会町内会の現況を共有し、自治会町内会が地方自治における住民自治に与える影響について想起させるために、事前調査の結果を提示し、自治会町内会の必要性を問う。	一斉	5
<p>2 自治会町内会が抱える諸問題を扱う専門家の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日における自治会町内会が抱える諸問題の実際 ・自治会町内会の必要性 	②	○ 今日における自治会町内会が抱える諸問題や自治会町内会の必要性に関する論争問題の実際を捉えさせるために、市民オンブズマンや自治会町内会の運営に携わった経験のある方の講話を聴く場を設定する。	一斉	15
<p>3 自治会町内会の存在意義に関する討論会に向けた立論を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティマネジメント」の視点から考える今後の自治会町内会制度の在り方 ・地方自治への参画の基盤となる「コミュニティ意識」醸成の是非 	③ ④	○ 自治会町内会をめぐる実際の状況に即した立論を構成させるために、専門家が適宜助言を与えられる場を設定し、活用を促す。 ○ 自治会町内会の必要性に関する意識を転換させるために、コミュニティマネジメントの視点を与える。 ○ 自治会町内会に対する「強制感」「義務感」に関する意識を転換させるために、コミュニティ意識醸成に関する助言を行なう。	個 ・ 小集団	20
<p>4 地方自治において実現されるべき民主主義の在り方について捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会制度と地方自治制度の関係性 ・地方自治における民主主義の健全な発展のために自治会町内会が果たすべき役割と可能性 		○ 自治会町内会制度と地方自治制度の関係性について整理させるために、住民自治の考え方を想起させ、住民がコミュニティ意識を向上させるために必要なことを問う。 ◇ 地方自治において実現されるべき民主主義の在り方について、住民のコミュニティ意識向上の必要性やそのための自治会町内会の存在意義等の視点を踏まえて述べることができているか。 ＜ポートフォリオ・様相観察＞	個 ↓ 小集団	10